



〒505-0116

岐阜県可児郡御嵩町御嵩1239番地の1 御嵩町役場内

TEL:(0574)67-2111(内線)2330 FAX:(0574)67-1902

E-mail:m-kngnkk@town.mitake.lg.jp

朝霧

Mitake Town Board of Education

“東濃高校の今、そしてこれから”

岐阜県立東濃高等学校長 青井 俊久

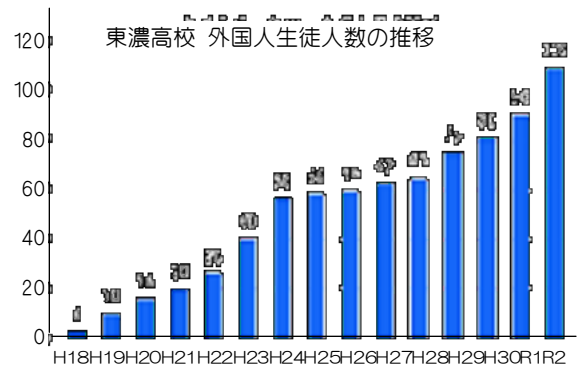
6月1日からの分散登校を経て、特別日課ながら学校が再開され、東濃高校の「新たな日常」が定着しつつあります。本校には「臨機応変」な対応を不得意とする生徒が多く見られますが、先生方の丁寧な指導のおかげで現在のところ見事に対応できており、それどころか本校にとっては近年にない良好な出席状況が続いております。

なかでも、1年生の頑張りが素晴らしく、この3週間で遅刻4件・欠席8件と、その意識の高さを数字で示しています。今年の1年生は登下校時の挨拶がよくでき、身だしなみも整っており、とにかく明るく元気のある集団の雰囲気醸し出していて、今後の成長が大いに期待されます。

その1年生にあって存在感を示しているのが「御嵩町出身生徒」です。ここ数年減少傾向にあったその数が6年ぶりに20名を超え、学年の18%を占めています。本校は以前より地元である御嵩町から様々なご支援やご協力をいただきながら「地域に信頼される学校づくり」を目指してきました。数年前からは県教育委員会の「地域連携による学校活性化事業」の推進校にも指定されています。私自身、かつて向陽中学校で勤務させていただいた経緯もあって、彼らには一方ならぬ思い入れがあり、本校と御嵩町の連携の大きな柱に育て上げていきたいと考えています。

今年度のもう一つの特徴は、外国人生徒の増加です。右図のような推移を示しながら、今年度は109人と全校生徒の30%を超え、1年生においては半数を超える状況となりました。この傾向はコロナの影響を受けつつも今後も継続していくと予想されます。

この状況に対し、本校では外国人生徒適応指導員・通訳支援員が5名常駐し、教職員らとともにきめ細かい指導を展開しています。日本語指導を



はじめ彼らの日本での生活や学校生活への適応力を高めることで、地域社会に貢献できる人材の育成や、それに留まらず元々もっている外国語などの潜在能力を引き出し、大学等への進学を経て国際社会を活躍の舞台とするスーパーエリート育成をも目指しています。（昨年度は2名の外国人生徒が国公立大学に進学しました。）そしてそれらの過程の学習や特別活動などにおいて、「外国人生徒」と「日本人生徒」がともに対話的で深い学びを通じた交流を積み重ねることで「異文化理解」「多文化共生」の意識が自然に醸成され、新たな世界観を身につけていくことも本校のねらいの一つです。

これからの東濃高校は、ますますグローバル化していきます。ラグビー日本代表のように、人種や言語、肌の色にこだわることなく、互いの価値観を尊重し、支え合い、成長し合える仲間づくりを進めていきます。そして、その中に一人でも多くの御嵩町出身生徒が関わってくれることを望んでいます。





令和2年度 御嵩町少年の主張作文

【中学生の部 最優秀賞受賞】
“命と向き合う機会として”

共和中学校3年 吉田 姫良里

猛威をふるうコロナウイルス。「自分は関係ない」「自分は大丈夫」と思っていないですか。よく考えてみてください。外出は自粛、学校は休校など、今までにないことが次々に起こっています。しかも、国や県の権限のもとにです。毎日毎日感染者が更新され、留まることを知りません。感染拡大防止のためにすべての生活が停止……。こんなこと初めてのことです。死につながるコロナウイルス。目に見えず気づかないうちに忍び寄るコロナウイルス。私は自分も感染しているのではないかと毎日がとても不安で、家から一歩も出ることができませんでした。

そんななかでも、みんなが普通の生活に早く戻ることができるようにと、自分もかかってしまうというリスクを抱えながら日々闘っている方々がいることに気づいていますか。

コロナウイルスが流行する前、私は病院に職業体験に行ってきました。薬剤師という職業に就くことが母のすすめもあって私の夢になっていたからです。

私たちに指導してくださった看護師さんは、途中で患者さんの対応にあたり、私たちが休憩させて頂いていた時間にもお仕事をされていたりと、休む暇もなくとても大変そうでした。他にも、自分で食事ができない方にはずっと横につき、食事補助をされていたりと、患者さんは待ってられません。ずっと動きっぱなしです。休む暇もない待ってられないこんなに大変な作業をたくさんすばやくこなしていかないといけないのにも関わらず、看護師の方々はどうなときでも笑顔を保ちます。優しく患者さんに声をかけてあげていました。

これはコロナウイルスが猛威をふるう前の話です。流行する前でも休む暇もなく大変だったので、医療現場では、どうなっているのでしょうか。想像がつかますか。

コロナウイルスは、感染してしまうと隔離が必

要となり家族に会えないばかりか、最悪には命を失ってしまうかもしれない恐ろしいウイルスです。

私は、親の影響や「誰かを元気にし、笑顔をもっと増やしたい」という思いから、薬剤師という職業にとっても興味をもっていました。

私は「人の命」というものを理解していなかったように思います。ですが、コロナウイルスが流行した今、「人の命」を助けるために自分の命を失う不安を抱えながらも、一生懸命に患者を救おうと尽くしている医療従事者の方々を実際に見て、「本当にかっこいいな」と思いました。

前に出会えた看護師さんも報道で知った医療従事者の方々も、どうしてかっこよく、素敵に輝いて見えるのでしょうか。

私は考えます。「人の命」を救うという強い責任感と使命感をもって働く、その姿勢が深く重く心に感じさせているのだと。「命の重み」に正面から向き合う覚悟が、心にズシリとひびきます。

薬剤師も、自分の間違っただ行動やミスで命を奪ってしまうことにつながります。間接的とはいえ、命に関わる重要な職業です。

私は「今のままでは決して命に向き合うことができない」とコロナウイルス流行によって思い知らされました。この出来事は改めて自分を見つめ直し、将来について考える良い機会となりました。命と向き合う覚悟が足りないと感じさせてくれたからです。私はこのコロナウイルスの状況から、自分の将来と真剣に向き合い、「あんなふうになれたらいいな」という軽い気持ちではなく、確かな夢へと変えることができました。

私たちは今、命に向き合う機会を与えられているのだと思います。だから、人ごとと捉えるのではなく正面から向き合い、取り組んでいかなければならないのです。

この機会を無駄にせず、これまでの自分の生き方を見つめ直してみませんか。



【小学生の部 最優秀賞受賞】 “ストップ! ゲーム依存”

御嵩小学校6年 高橋 寛生

ぼくは、5年生のゴールデンウィークにスイッチというゲームを買ってもらいました。その時に約束事をしました。妹と仲良く遊ぶこと、時間を守ることです。しかし、初めてのゲームはとても面白くて、熱中し、時間が守れないことがありました。そういう時には母に注意を受けました。始めはやさしく注意されていましたが、文句を言ったり、「もうちょっと」とわがままを言ったり、トイレなどにかくれて、コソコソとやっていました。それが続くとゲームを取り上げられました。しかし、ゲームに夢中になっていたぼくは、「まだ返してくれないの。」「早く返して。」としつこくしつこく母に言い、ついにおこられました。その時に、母に「ちょっとゲームに依存していない？自分で行動や気持ちのコントロールが出来ないのは依存の始まりだよ。」と言われました。ぼくは、「依存？ぼくがなるわけないのに。」「止めようと思たら、いつでも簡単にやめられる。」と思いました。

みなさんも最近、テレビや新聞で、「ゲーム依存」という言葉を聞いていると思います。では、ゲーム依存とは一体どういうことでしょうか。ぼくも、ゲーム依存という言葉は知っていましたが、よく分からなかったので、調べたり考えたりしました。

「依存」とは、そのことをやり続けてやめられなくなったり、それに、たよりきりになってしまうことです。ゲーム依存・覚せいざいなどの薬物依存などがあります。ゲーム依存の深くさを知る人は、「アルコールや薬物への依存と何ら変わらない」「覚せいざい依存と同じ」と断言しています。

覚せいざいなどの薬物依存の人は、無気力で、目の前のことには意欲がわかず投げやりで、不き

げんでイライラしやすく、集中力は低下し、顔色は青ざめ目を合わせようとしない、以前はそれほど苦労せずにできていたことができないという症状が見られます。ゲーム依存も薬物依存と同じになることが分かりました。つまり、脳がこわされているのです。ぼくは、脳がこわされる危険があると分かってとても怖くなりました。一度きずついた脳を取りもどすのは、かなり大変だと聞きます。また、ぼくたちの体とともに成長している脳がこわされていることにき機を感じました。

たばこや、アルコールは子どもには、はん売されず制限がかかっていますが、インターネットゲームは、小学生や中学生といった子どもがプレイすることに制限がありません。つまり、ゲーム依存の入り口は身近にあるということです。いつでもどこでもだれでも、簡単にアクセスできるからこそ気をつけなければいけないと思いました。

ぼくは、ぼくをふくめ、ぼくの大事な家族や友達がそのような状態になってほしくありません。なので友達に、

「今日、外で遊ぼう。」「公園に行って遊ぼう。」など声をかけて、大事な人を守っていきたいと思いました。

また、大人の方にもお願いがあります。ぼくたちは、まだ子どもで未熟です。ついつい、夢中になりすぎてしまうことも間ちがいをする事も多々あります。自分で行動に制限をかけるのも上手ではありません。約束事をしたり、声をかけたりしてゲームの使い方について一しょに考えてほしいと思います。



御嵩町少年の主張作文

「令和2年度 御嵩町少年の主張作文」に、小中学校合わせて107名の応募がありました。審査の結果、小学生の部は高橋 寛生さん(御嵩小6年)、中学生の部は吉田 姫良里さん(共和中3年)が最優秀に選ばれました。

小学生の部	学 年	氏 名 (敬称略)	題 名
最優秀賞 御嵩小学校	6年	高橋 寛生	ストップ!! ゲーム依存
優秀賞 御嵩小学校	6年	大嶽 颯太	ほくとみんなにとってのコロナウィルス
御嵩小学校	6年	可児 悠久	日常生活の大切さ
御嵩小学校	6年	鈴木 遥斗	家 族
上之郷小学校	6年	鷲見 羽胡	ピンチをチャンスに
中学生の部			
最優秀賞 共和中学校	3年	吉田姫良里	命と向き合う機会として
優秀賞 共和中学校	3年	鍵谷 娃綺	野崎の少子高齢化について
共和中学校	3年	小泉 梨歩	笑顔を守ろう。つくろう。
向陽中学校	2年	高木 愛璃	歩けるということの大切さ
向陽中学校	2年	平井 夏姫	逆境でも前向きに
向陽中学校	2年	本田あいか	笑顔への一歩



■ From a Young staff

“笑顔で元気な学校生活を支える”

伏見小学校養護教諭 岩淵 彩花

伏見小学校に赴任し、約3ヶ月が経ちました。養護教諭はこの時期、年度初めの健康診断が終わり事後措置に追われている時期です。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、健康診断は延期になっています。伏見小学校でも子どもたちの健康を第一に考え、安心・安全に学校生活を送ることができるよう、保健主事を中心に対策を考え、試行錯誤しながら感染対策を行っています。

普段とは違った日々を過ごす中、私が養護教諭として大切にしていることは、「子どもたちが自分の健康について考え、毎日を笑顔で元気に過ごすことができる」ということです。そのために、どうしたら健康に過ごすことができるのかを子どもたちが考えられるような「ほけんだより」を発行したり、健康とはどういうことなのか自分で気づけるような保健指導などを行っています。また、養護教諭は毎日の健康観察、保健室への来室状況から全校の児童を観ることができ、子どもたちの心身の異常にいち早く気づける立場です。子どもたちのことで気になることがあれば、管理職や担任などへ報告、連絡、相談をし、必要があれば外部機関などいろいろな人と情報を共有することで、子どもたちの心身の健康を守ることに心がけています。さらに、毎日の校内巡視で危険個所はないかを把握すること、環境衛生検査を行い過ごしやすい環境を整えることなども行い、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように努めています。

これからも子どもたちの心身の健康を一番に考え、子どもたちが笑顔で元気に学校生活を送る手助けができるような養護教諭になるため、たくさんの方の事を学び、指導や対応へ生かしていきたいです。



“わたしたちにできること”

上之郷小学校教諭 小川 恭嗣

6月1日から子どもたちがやっと学校に登校するようになって、早くも1か月が経とうとしています。本来なら入学して2か月が経っているはずの1年生が、慣れない大きなランドセルを背負って一生懸命登校しています。今年度、生徒指導主事となり、毎朝、各分団の通学路に立ち、一緒に歩いたり、登校中の様子を見て回ったりすることが日課になりました。

登校中の児童の様子が昨年度までと違うところは、マスクを着けて登校していること（登下校中マスクははずしても可としています）、できるだけ話さずに1列に並んで歩いていることです。暑い中なので、1年生を含め、多くの子が汗をたくさんかきながら、黙々と歩いてきます。そんな中、遠くから歩いてくる6年生よりこんな声が聞こえてきました。「大丈夫？暑くない？えらくない？水分とろっか。じゃあここで給水タイムね。」歩いている途中で何度も声をかけ、1年生を気遣いながらペースを考えて歩く姿や、途中で休憩をはさみながら、班員に水分補給をさせ、熱中症予防をも考えながら登校する頼もしい姿にいつも感心しています。そんな6年生のおかげで、現在まで1年生を含めた全児童が無事に登下校をしています。

しかし、学校内での生活に目を向けてみると、中には心配な児童の姿も見られます。授業中、眠そうにしていたり、集中が続かず落ち着かなかったり・・・。

学校再開後、児童に心のアンケートを実施しました。アンケート結果を職員で交流してみると、

- ・自分や自分の家族が病気にかかるのではないかと不安が強い。
- ・イライラして気持ちがどうしても落ち着かないことがある。
- ・テレビやゲーム、スマホの画面を3時間以上見続けることがある。
- ・何もやる気がせず、長時間ぼーっとしてしまうことがある。

と感じている児童が多いことが分かりました。中には、「楽しみにしている学校行事ができるのか」と不安を感じている児童もいました。長期の休校により、生活リズムが崩れてしまった子、普段の生活が送れずストレスを抱えてしまっている子がいます。また、今後、学校生活の新しい変化にストレスを溜めてしまう児童が出てくるかもしれません。

我々職員がすべきことは、子どもたちの小さな変化にも気付き、心に抱える不安を取り除いていくこと、子ども自身が苦難に立ち向かえるように、指導・援助し、見届けることです。そのためにも、職員間での児童の様子との交流を密にし、全職員で全児童の指導にあたります。

始まったばかりの今年度。「これもできない、あれもできない」ではなく、「今、子どもたちのためにできることは何か」をよく考え、子どもたちが安心・安全に、そして元気に過ごせる学校を目指していきます。

何度も聞きたい言葉

外国の方と話をしていると、“Excuse me.” とか “Thank you.” という表現をよく聞きます。何度聞いても気持ちの良い表現です。くしゃみやあくびをした時も、人の前を通り抜ける時も、“Excuse me.” が使われます。こうした表現は人間関係を円滑にする潤滑油のような言葉で、何度聞いてもうれしくなります。

HelloやHow are you?の挨拶に加えて、こういう表現を使えると、よい人間関係が作れそうですね。

SNSを使った誹謗中傷が話題になったり、Social distancingで人との親しみを作りにくかったりする時期だけに、潤いのある社会につながる表現を大事にしたいものです。英語以外にも Merci, Danke schön, Obrigado, 謝謝, Graciasなど感謝の言葉を知っていると、いいかもしれません。ありがとうございます。

外国語教育指導員 日比野武志

子供の読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰 受賞



伏見小学校

伏見小学校が「令和2年子供の読書活動実践校」として、文部科学大臣表彰を受賞しました。全職員による組織的かつ継続的な読書指導の充実、読書環境の充実、子供の読書量、学校図書館教育賞小学校部門最優秀賞受賞実績等が評価されました。



7月

8月

日	曜	行 事	日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	水		17	金	行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により変更されることがあります。	17	月	第2学期始業式
2	木	上中 PTA授業参観日・懇談会	18	土		18	火	上中3年 実力テスト・12年 課題テスト 向中3年 実力テスト・12年 確認テスト
3	金	御小/伏小456年 QUテスト	19	日		19	水	
4	土		20	月		20	木	
5	日		21	火	上小 ノーメディアデー(～27日) 共中3年 三者懇談(～30日)	21	金	
6	月	上小 フリー参観日 伏小 ひびきあい集会(放送)	22	水		22	土	上小 PTA環境整備作業(予備日23日)
7	火		23	木	海の日	23	日	
8	水	御小23456年 学力テスト	24	金	スポーツの日	24	月	
9	木	向中 生徒総会(TV)	25	土		25	火	向中 三者懇談(～31日)
10	金	上小 ぼうさいかみのごう	26	日		26	水	上中 三者懇談会(～28日)
11	土		27	月	上小 個人懇談(～30日) 上中/向中 期末テスト(～28日)	27	木	
12	日		28	火		28	金	
13	月		29	水		29	土	上中 PTA奉仕作業(予備日30日)
14	火		30	木	向中3年 進路説明会	30	日	
15	水		31	金	第1学期終業式	31	月	
16	木		夏期休業日(8/1～8/16) (学校閉庁日 8/11～8/14)					